

佐藤コレクション目録

A List of the Sato's Collection

アジア・アフリカ産フタオチョウ標本

Butterflies of *Charaxes* & *Polyura*

人と自然の博物館収蔵 佐藤英次 フタオチョウ類コレクション



(佐藤英次氏・敏子夫人 近景)

本コレクションは、京都市在住の佐藤英次氏から1992年、2005年、2006年の三次に亘って人と自然の博物館に寄贈いただいたフタオチョウ類標本5,000点を超える兵庫県立人と自然の博物館収蔵資料である。

フタオチョウはタテハチョウ科の1亜科 Charaxinae であり、名前が示す通りこのグループの種の多くでは、左右の後翅に2つの尾状突起を持っている。日本にはフタオチョウ類の仲間は沖縄県に *Polyura eudamippus* (Doubleday, 1843) 1種が産するのみであり、必ずしも日本人に馴染みの深いチョウではない。しかし、アフリカやアジア、オーストラリア地域に至る東南アジアの島嶼、オセアニア地域の島嶼などに約200種以上が分布するタテハチョウ科では最大の亜科であり、大型で美しい種が多いことから、世界中のチョウ愛好者の注目を集めるグループである。また、フタオチョウ類は花蜜ではなく腐った動物死体や熟した果物で採餌をしたり、交尾や産卵場所を守るために前翅を激しく打ち付け合って「なわばり争い」をしたりと、普通のチョウ類とは異なる生態を多く有している。このため、フタオチョウ類はチョウの生態や進化の解明に取り組む研究者たちも大きな興味を寄せるグループである。

佐藤氏は呉服類を扱うことが本来の仕事である。しかしチョウ類にも並外れた興味をお持ちで、特に

フタオチョウ類には他の人の追随を許さぬほどの興味を持ってこられた。そして半世紀に近い年月を費やし、また私財を投入して、敏子夫人とフタオチョウ類のコレクションを作り上げることに没頭されてきた。その成果である本コレクションは、フタオチョウ属 (*Charaxes*) のアフリカ産既知種154種中131種、アジア産既知種27種中25種を含むなど、世界でも最もまとまったフタオチョウ類コレクションになっている。当館にとっても、佐藤コレクションは開館直後に受け入れたチョウ類の大型コレクションであり、博物館設立の契機となった阪口コレクションとともに、当館の収蔵昆虫標本の中で最も傑出したコレクションである。また、1994年には、当館の企画展示「佐藤コレクション 世界のフタオチョウ展」として一般に公開し、多くの来館者から好評を得たコレクションでもある。

今回、佐藤コレクションからアフリカ、アジア、オセアニア地域、およびその間に存在する多数の島嶼に産する *Charaxes* 属および *Polyura* 属のフタオチョウ類182種、488亜種の標本データの人博収蔵目録として出版することとなった。本冊子には標本データに合わせて、480点のフタオチョウ標本カラー画像(翅表・裏)を掲載しており、現在の日本におけるフタオチョウ類資料目録としては最も充実したものと考えられる。研究や普及活動の資料として、ご活用いただければ幸いである。